

海で安全に楽しむために

中・高生用

目に見えない危険を知り、安全な場所を選びましょう！

離岸流、突発的な大波

海には、場所によって海岸から沖に向かう目に見えない速い流れ（離岸流）があり、これに巻き込まれると、一気に沖へと流されてしまいます。

万が一、突然沖まで流されたり、いくら泳いでも海岸に近づけなかったりしたときは、離岸流に巻き込まれている可能性があるので、まずは岸と平行に泳ぐことで、沖に向かう流れから抜け出しましょう。

また、一見穏やかに見える海でも、突然大きな波が発生することがあるので、充分注意しましょう。



深みの存在

海中には急激に深くなっている場所があり、見て確認することは非常に困難です。また、海流等の影響で浅かった場所がある日突然深くなる場合も珍しくありません。泳げる人でも、深みにはまつことで、溺れてしまうことがあります。

海水浴場以外の場所

海水浴場以外の場所では、水上オートバイやボートなどと接触の危険があるほか、監視員やライフセイバーがないため、万が一事故にあったとしても、すぐに助けてもらえないかもしれません。

遊泳は、万が一のときの救助体制が整っている海水浴場を利用しましょう。

海を知り、無理をせず、安全に楽しもう！

海水浴場の開設情報は、北海道庁ホームページにて公開されています。

●海の安全情報はこちら

海上保安庁ウォーターセーフティガイド
Water Safety Guide
海上保安庁



●海水浴場一覧はこちら



北海道 海水浴場情報
危機対策課・スポーツ振興課



第一管区海上保安本部・北海道

保護者の皆様へ

海で安全に楽しむために

北海道では、過去5年間で52名の方が遊泳中に事故に遭っており、
その半数以上が20歳未満の子供です。

海には「沖へ向かう流れ(離岸流)」や「深み」など、目に見えない危険があります。海水浴などで海辺へ一緒に行く場合は お子様から目を離さないようにお願いします。



● 遊泳は、開設された海水浴場を利用しましょう ●

開設された海水浴場とは、自治体等により管理運営されている海水浴場

・ライフセーバーや監視員がいる

万が一の時にはすぐ救助が来る

・水上オートバイやボートなどは規制されていて入ってこない

船舶との接触は大怪我の危険

・定期的なゴミ拾いや水質検査により、安全に利用できます

一番大事なのは、風や波が強いとき、体調が悪いときは海に入らないこと!!

海水浴場の開設情報は、北海道庁ホームページにて公開されています。



第一管区海上保安本部・北海道